

平成27年度 第2回弘前市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

- 日 時 平成27年11月6日（金）13時30分～
- 場 所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 安東委員、一戸委員、内山委員、太田委員、川越委員、高木委員、高野委員、竹谷委員、館委員、戸澤委員、福士委員、藤田委員、三橋委員、八木橋委員
- 欠席者 鈴木委員、田澤委員
(委員16名のうち14名が出席)
- 事務局 浅利都市環境部長、秋元環境管理課長、佐藤上下水道部工務課長、川村参事、鈴木環境事業所長、福士資源循環係長、吹田総括主査、田沢環境事業係長、齊藤主事
- その他 エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社 2名
(弘前市一般廃棄物処理基本計画策定支援業者)

○資 料

- ・【資料1】 計画策定の概要
- ・【資料2】 スケジュール
- ・【資料3】 現状と課題
- ・【資料4】 ごみ組成分析調査結果（8・9月分）
- ・【資料5】 視察結果
- ・【資料6】 ごみ処理の方向性
- ・【資料7】 市民・事業者アンケートの実施について
- ・【補足資料1】 経営計画での位置づけ
- ・【補足資料2】 当市のごみの状況
- ・【補足資料3】 取組指標比較
- ・【補足資料4】 H27取組実施状況
- ・【参考資料】 新聞記事&広報記事

○内 容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式
⇒市長による交付を行い、計16名が審議会の委員に任命された。
- 3 市長挨拶
- 4 組織会
⇒会長として内山委員が、会長職務代理者として高野委員が決定した。
- 5 会議
⇒資料について事務局より説明後、委員から意見等が寄せられた。
- 6 閉会

【主な意見】

- 家庭系ももちろんだが、事業系のごみ対策が問題。来年度から古紙類の受入制限が始まるが、収集事業者と行政の間で情報共有しながら対策していくことが重要。
- 今後、集積所まで持って行くのが難しい方のための、ふれあい収集等も検討していく必要がある。
- 市民の一人一人にとって、ごみが最終的にどう処理・リサイクルされているかわからないことが無関心を生んでいる。
- ごみ処理施設の見学機会をもっと一般に増やしていく必要がある。
- 再生資源回収事業は非常に可能性を持った取組みであるが、年々排出量が減ってきているため、更なる周知広報が必要。
- 広報は事業所をはじめ、町会に加入している家庭以外には配られないことがある。広報以外の方法での広報に力を入れてほしい。
- 紙ごみの分別がわかりづらいため、わかりやすい分別方法を周知してほしい。
- 一人一人の市民が自分のごみに責任を持つためにも、ごみ有料化も検討すべきではないか
- もし今後有料化を実施するのであれば、品目に応じて金額を設定してほしい。